

# 適応行動尺度の正しい使い方と と障害受容を支える支援のポイント

株式会社 医療情報研究所 取締役

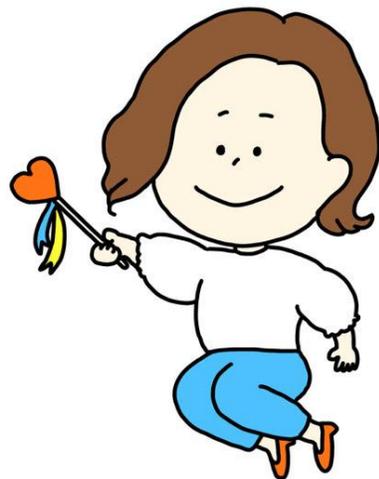
臨床心理士・公認心理師・教育学修士

小学校教諭・幼稚園教諭

伊藤かおり

本日はご視聴いただき、  
ありがとうございます。

---



# 注意事項

---

- こちらの資料の著作権は、弊社および伊藤かおりにあり、無断譲渡、無断転載を禁じます。
- 本日扱うアセスメントは、資格レベルB以上の先生が実施するものであり、具体的な検査内容、スコアの算出の仕方などについては、お話できません。結果をどのように支援に活かすかという視点でお聴きくださいませ。

# 伊藤かおり

1985年生まれ。

大学生から社会人まで、NPO法人アスペ・エルデの会で  
発達障害児者支援と保護者支援を実践を通して学ぶ。

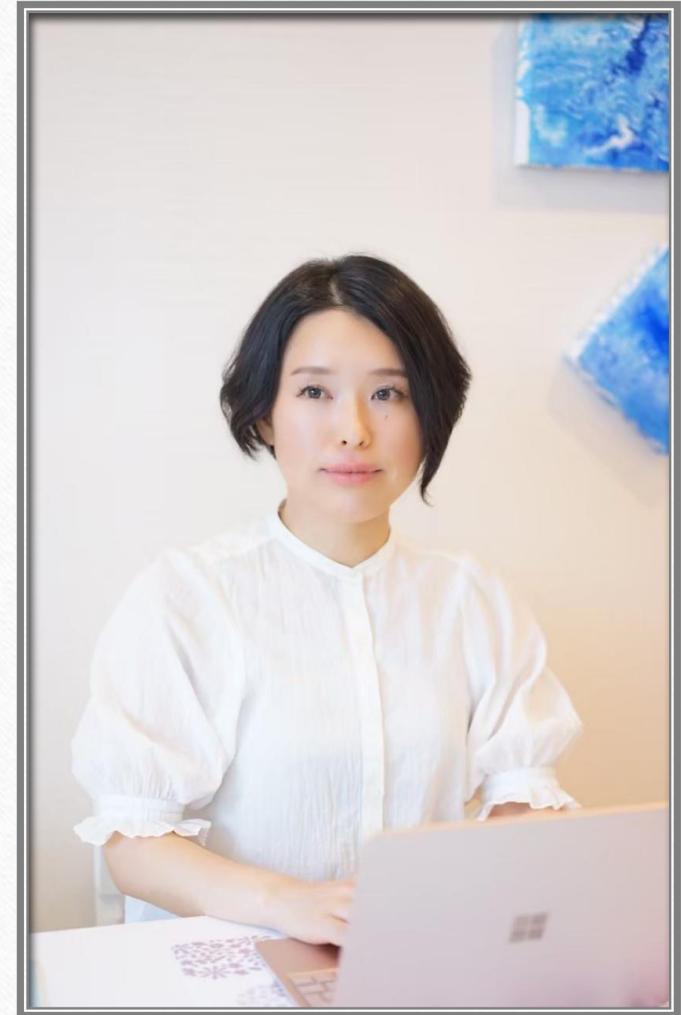
自閉症研究の第一人者のひとりでもある  
別府哲先生に従事し、新版K式など、  
アセスメントについて学び、地域にて実践。

<経歴>

県発達障害者支援センター

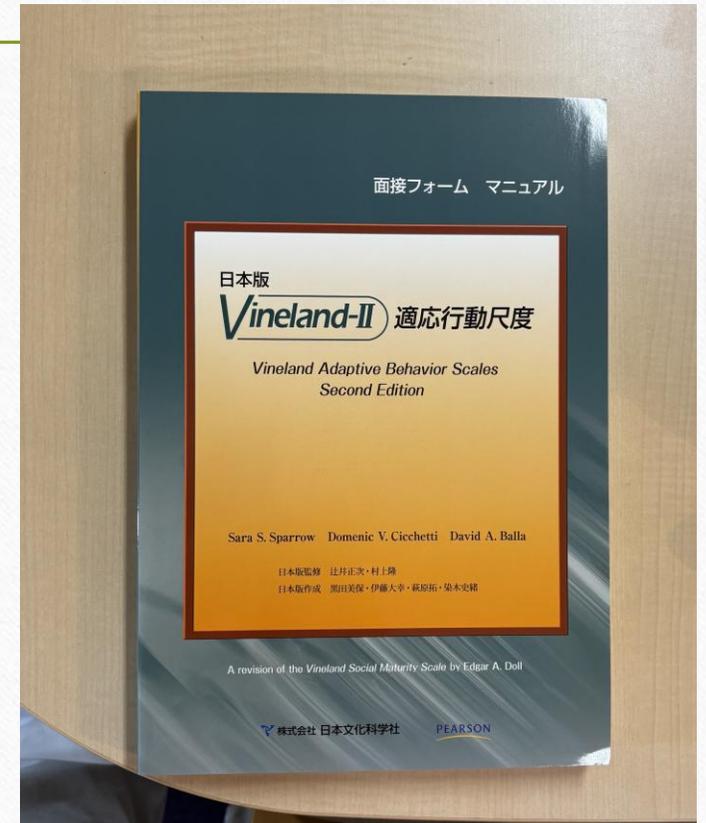
大学勤務(障害学生支援と学生相談)を経て、独立。

現在は専門職向けカウンセリング事業のほか、  
スクールカウンセラーとして勤務。



# 本日のラインナップ

- 適応行動尺度  
(主にVineland-II)の活かし方
- 障害受容を支える  
支援職になるために



# 1. 適応行動尺度の活かし方

---

- ① 新版S-M社会生活能力検査と  
Vineland-II 適応行動尺度の比較
- ② Vineland-II 適応行動尺度の実践
- ③ ケース検討の際の注意点

# ①新版S-M社会生活能力検査と Vineland-II 適応行動尺度について

	S-M社会生活能力検査	Vineland-II
方法	質問紙	半構造化面接
適用年齢	満1歳から13歳まで	0歳から92歳まで
回答者	子どもの様子をよく知る保護者など	子どもの様子をよく知る保護者など
実施時間	15分程度	60分程度
資格レベル	B(大学院等で心理検査・心理測定を履修した者)	B(大学院等で心理検査・心理測定を履修した者)

# ①新版S-M社会生活能力検査と Vineland-II 適応行動尺度について

	S-M社会生活能力検査	Vineland-II
項目内容	6領域(身辺自立、移動、意志交換、集団参加、自己統制)	コミュニケーション領域 日常生活スキル領域 社会性領域 運動スキル領域 不適応行動領域(承諾を得る)
スコア	社会生活年齢が算出 社会生活指数(社会生活年齢÷生活年齢)×100	平均100 標準偏差15 下位領域 平均15、標準偏差3

# ①新版S-M社会生活能力検査と Vineland-II 適応行動尺度について

個人的な意見…

これから導入する事業所であれば、

Vineland-II 適応行動尺度 一択!

【新版S-M社会生活能力検査は、非常におおざっぱなもので、  
おおよその発達年齢をつかむつもりで利用するとよいだろう。  
制作から30数年が経ち、生活様式や社会情勢が大きく様変わりしたため、…  
内容が現状に即なさくなっているものもある】

「発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン」金子書房 より引用

✿ 私自身が、臨床経験でS-Mを用いた例…

## ② Vineland-Ⅱ 適応行動尺度の意義

【なぜ、適応行動をアセスメントすることが必要なのだろう】

IQは、支援の必要度の指標になりますか？

→IQが高くても支援が必要な子はある。

→「分かっていること」と、生活の中で日常的に「できていること」とは違う。



支援職の主観ではなく、アセスメントの結果から、個別支援計画を立てられていますか？

→A先生「卵くらい、割れなきゃ将来困る！」

B先生「それより、一人でコンビニに行ってゆで卵が買えるスキルの方が大事！」

ケース検討会で、このような不毛な議論をしていませんか？

実際の生活に活かすための療育を！

## ② Vinland-Ⅱ 適応行動尺度の意義

---

【ウェクスラー式知能検査とVineland-Ⅱを実施することで、  
より支援が具体化する】

最大のメリットは、WISCとVinelandで、比較可能であること

両方とも指標得点(領域)平均が100 標準偏差(SD)が15であり、比較ができる

※下位検査は比較できない

ケース検討で用いられるのは、**全検査IQ(総合点)の指標得点(領域)が主**

例) WISCVで言語理解がIQ100、Vineland-Ⅱのコミュニケーション領域で得点が70だった場合…

# 適応行動とは

---

- 個人的・社会的充足を満たすのに必要な日常生活における「行動」
- できる× 日常的にしている○ 例) 料理
- 別に今困らないし、やっていなくてもいいのでは？
  - 「不適応行動がでる隙もないほど、適応行動で埋める」
  - 思春期以降の二次障害の予防(不適応行動は3歳以降から測定できる)

## ② Vineland-II 適応行動尺度の意義

・なぜ、「適応行動」？

→認知はあまり変わらないが、  
「適応行動」は変わる。

・どうやって結果を見たらいいの？

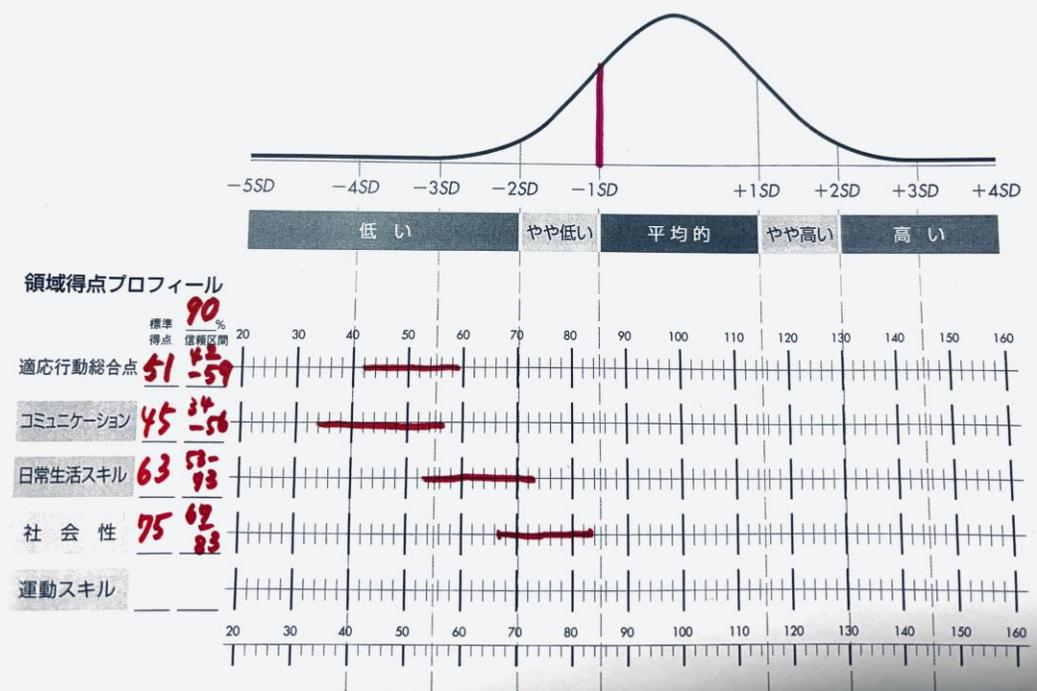
→WISCなどの見方と変わりません。

100が平均

「平均的」の中に、全体の3分の2が入ります。

「やや低い(85~)」以下であれば、  
支援が必要。

Vineland-II 得点プロフィール



## ② Vineland-Ⅱ 適応行動尺度の意義

### 🌟 Vineland-Ⅱ 実施の例

- ・心理職の先生方に研修を受けていただく
  - ・保護者とラポールを築いていただく
  - ・ Vineland-Ⅱ 実施  
(やらせたことがない“N/O”や 分からない“DK”に気づいていただく)
- ※ “DK”ばかりだと、数値が出せないので注意
- ・個別の支援計画作成(ターゲットとなる適応行動を決める)
  - ・ケース検討会(手立て、療育活動の中でどのようにスキルを伸ばしていくか)
  - ・半年後、再度、Vineland-Ⅱ 実施(ターゲットとしたところがどう変化しているか確認し、次の課題を見つける)

## ③ ケース検討に用いる際の注意点

- ・標準化された検査を用いる際は、検査項目などを公開しないように気を付ける。  
(保護者のみならず、支援職であっても、レベルBより下の方には公開できない)
  - ×みんなで検査用紙を囲んで見ること
  - ◎プロフィールと所見をみんなに配って実施者の解釈をふまえ、検討すること
- ・WISCの結果をふまえ、比較検討する。
  - △ Vineland-II だけ実施し、その結果から、個別の支援計画を立てること
  - ◎直近のWISCの結果と、Vineland-IIの結果を見比べて、ケース検討すること
- ・すべて「家庭の努力不足」として結論づけないこと
  - ×「家庭でやらせてください」
  - ◎(家庭と連携しながら)本児の興味関心がわくように、活動を組み立てる

## 2. 障害受容を支える支援職になるために

---

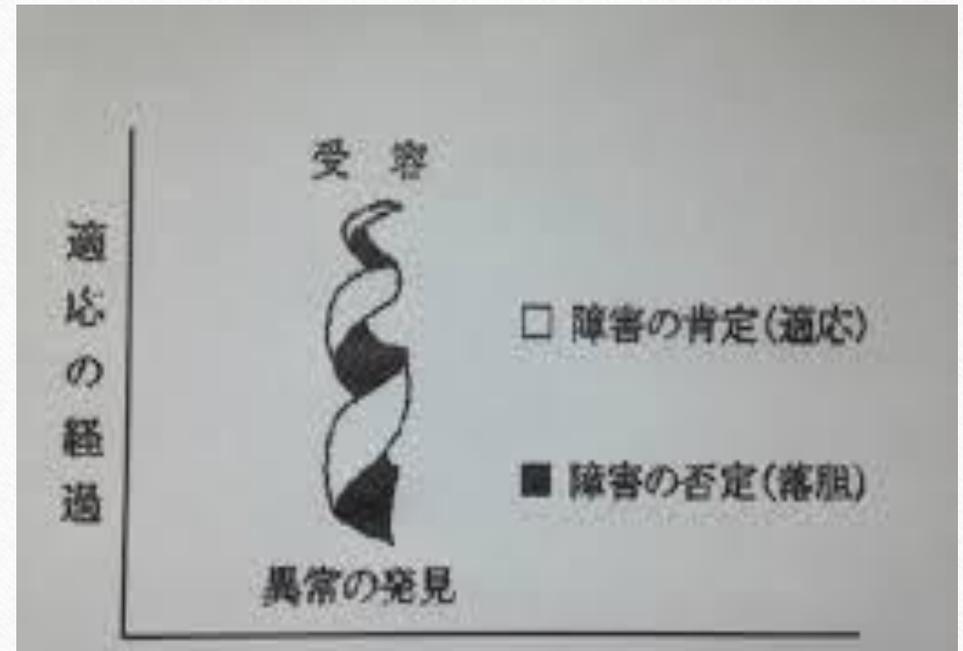
周囲から受容されることなしに、障害受容はなされない。

※なぜ受容していないことが、いけないことなの？

- ①受容の過程は、らせん状(段階的に×)になっていると理解する
- ②NGワードを言わない。
- ③支援職は、子どもの行動を共に見つめる存在になる。

①障害受容の過程は、らせん状  
になっていると  
理解する(中田先生1995)

- ・段階モデルではない
- ・環境や状況によって、  
受け入れることができたり、  
できなかつたりするのは当然。
- ・その方の環境は？
- ・支援職が受け入れられる  
環境のひとつになれば...



## ②NGワード集

---

- × 「真摯に受け止めなきゃダメ」「目を逸らしちゃダメ」「普通はこうするよ」
- × 「(発達特性があるので)病院に行って診断を受けるべき」
- × 「保護者の理解がないなんて、子どもが可哀想」
- × 「〇〇先生も、困っていると思うよ」
- × 「私はこうして良かったから、あなたもこうしてみたら？」

# NGワード集



- × 「真摯に受け止めなきゃダメ」「目を逸らしちゃダメ」「普通はこうするよ」
- × 「(発達特性があるので)病院に行って診断を受けるべき」
- × 「保護者の理解がないなんて、子どもが可哀想」
- × 「〇〇先生も、困っていると思うよ」
- × 「私はこうして良かったから、あなたもこうしてみたら？」

内容のないアドバイス、  
実態のない「普通」  
環境や状況が異なるのに、  
それを考慮しないアドバイス×

## ③子どもの行動を共に見つめる keyワード集

---

- 「家庭でお母さんがどんなことをしているのか、教えてください」
- 「何か気になることや、落ち着かなくなる理由があるかもしれませんね」
- 「〇〇ちゃん自身が困っている(できるようになりたい)と思っていると感じるんですよね」
- 「(このような支援、手立てがあると)取り組みやすくなると思います」

# 参考文献

- ・発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン 金子書房
- ・発達障害支援に生かす 適応行動アセスメント 金子書房
- ・LD,ADHD&ASD 2025年 04月号  
(子どもの未来を照らす「アセスメント」基礎)  
一般財団法人特別支援教育士資格認定協会

